

赤れんが通信



第 64号

令和 2年 3月 26日

編集発行人 国際交流員 金昭賢

みなさん、お元気ですか?! 私は1ヶ月前から「極めて平凡な日常」の大切さを痛感しております。韓国と同じく、北海道でも2月28日の非常事態宣言以来、不要不急な外出を控える雰囲気です。新千歳空港から韓国と中国を往来する航空便も運休に入ったため、外国人観光客の数も確実に減っている気がします... この事態が一日も早く収まることを願いながら、暇で退屈なひとり時間をより充実に過ごせる趣味をみつけてみようと思っております。

北海道の自然遺産

交流員トリオのオホーツク地域探訪



◀ 北海道観光PRキャラクター「キュンちゃん」

正体は北海道に分布するウサギ科の動物「エゾナキウサギ」です。網走のご当地キュンちゃんはカニのかぶりものを身につけています。



国際課の交流員たちは1泊2日でオホーツク地域を訪問しました。社会や地理の授業で聞いたことのある「オホーツク海」を直接見に行くことになったのです!

私たちの目的地である「網走」は札幌からおよそ350km(自動車約5時間15分所要)離れています。ソウルから木浦(モッポ)までの距離ですので、かなり遠くまで移動することになります!

DAY 1

新千歳空港から飛行機で女満別空港まで移動しました。小型のプロペラ機は、雲に入るたびに葦のように揺れてスリルがありました @_@



無事に網走に着き、北浜駅で昼ご飯を食べました。見た目は老舗ですが、ここは実際に列車が停車する駅です。中に入ってみると、食堂車のような雰囲気です。食事ができるお店がありました。

午後には砕氷船「おーら」に乗りました! 風を切りながら勢いよく出航した船はいつの間にか流氷を砕きながら進んでいました。波にうねる流氷が青い海の光を含んで輝く景色が感動的でした。

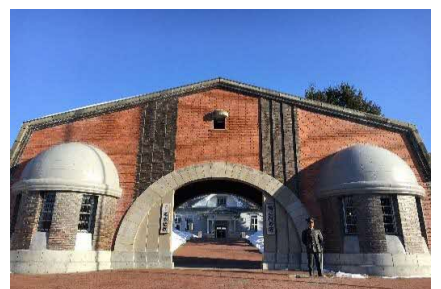


海に浮かんでいる広い板の形の流氷を見ると、その上に一度乗ってみたい気持ちになりました。実際に、網走や知床ではドライスーツを着て流氷に乗ってみたり、海に入ってみる「流氷ウォーク」体験もできるようです。

周りがすっかり流氷に囲まれ、ここが海の真ん中なのか、雪だらけの雪原なのか区別がなくなると、広々とした自然の中で人間はどれだけちっぽけな存在なのか尚更実感することができました。

引き続き、天都山展望台に移動し、流氷で覆われたオホーツク海と網走川、湖が共存する町の風景を俯瞰しました。真っ白な水平線と雲がかかっている知床の山々がかすかに見えました。

次の行き先は博物館網走監獄でした。放射状に並ぶ監獄は一目で監視できるように設計されていましたが、厳しい警備体制にもかかわらず、脱獄をする囚人もいたと言われます。



◀天都山展望台 ▶博物館網走監獄



▲網走駅にて



▲網走のシンボル「ニポポ」



▲流氷の天使「クリオネ」



▲オシンコシンの滝 ▲知床世界遺産センター



DAY2



私は新しい地域を訪問すると、朝早く起きて散歩やジョギングをします。夜が明ける前、窓から見える静かな町の景色はクリスマスイブのような雰囲気を醸し出していました。まだ眠っている町を歩き、網走駅へ向かいました。そして、そこで日の出を見ました。

この日、最初に訪ねた道の駅しゃりでは「流氷の天使」と呼ばれるクリオネの実物を見ることができました。水の中で可愛く羽ばたく小さな天使のように見えますが、実は動物性プランクトンの捕食者なんです！

道の駅には鮭などの魚を加工した地域の特産品が陳列されていました。エゾシカ肉をジャーキーにした商品もあって面白かったです。挑戦してみる勇氣はありませんでしたが、どんな味がするか気になりました。

ウトロへ向かう途中、「オシンコシンの滝」に寄りました。何となく「オクシンガクシン」という韓国の単語が思い浮かびます。しかし、この名前は「川下にエゾマツが群生するところ」というアイヌ語だそうです。爽やかな音を立てて落ちる滝に心が清々しくなる気がしました。

最後に、私たちはウトロにある知床世界遺産センターを訪問し、動植物に関する展示を見ました。パネルによると、私の身長はただかかヒグマの座高ぐらいだそうです…

今回、最も印象的だったのは綺麗な空でした。目の前に広がる大地と青い空、温かい日差しの中で「このような幸せは、どれだけ久しぶりなことなんだろう」と思いました。

みなさんも自然の中でのヒーリングを求めているなら、北海道に是非お越しください！

日本の昼休み

韓国と日本の昼休みの風景はかなり違います。韓国では同じ課の同僚や上司と一緒に食事に行き、食べながら仕事の話をしたりしますが、日本ではだいたい昼休みを各自過ごし、リフレッシュをします。

また、外食よりコンビニの即席食品を食べたり、家で作ってきたお弁当で簡単に食事を摂ったりする人が多い気がします。食事後にテイクアウトコーヒーを持って会社に戻る姿もここでは珍しいです。

花粉の季節！

日本は春にも比較的になんぷとPM2.5の心配が少ない一方、2月末から5月の間は花粉アレルギーで苦しむ人が多いです。日本中至る所に植林された杉の花粉が花粉症を引き起こしますが、沖縄と北海道では杉の木が自生しないため、この症状はあまり現れないようです。

その代わりに、北海道では4月の下旬からシラカバの花粉が飛散し始めるので、「シラカバ花粉症」という地域特有の花粉症があると言われます。



✓ 赤れんが通信
バックナンバー
韓国版はこちら



✓ 北海道観光
振興機構は
こちら



✓ 編集・発行 北海道 総合政策部 国際局 国際課
北海道札幌市中央区北3条西6丁目
TEL : +81-11-231-4111 FAX : +81-11-232-4303